

高等学校の新学習指導要領解説書における「新聞」関連記述(抜粋)

この資料は、新学習指導要領（平成30年3月告示）解説（同年7月）から、「新聞」「報道」「論説」「ニュース」などの記述を抜き出したものです。「新聞」以外の語句については、新聞との関連性を勘案して抽出しています。

【特別活動】

第3章 各活動・学校行事の目標と内容

第1節 ホームルーム活動

2 ホームルーム活動の内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ 男女相互の理解と協力

男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。

この内容は、学校教育全体を通じて、人間の尊重や平等について考え、男女が共同して社会に参画することや協力して充実した生活を築くことのできるようになるものである。男女相互について理解するという事は、互いに相手のよさを認め合うことである。独立した一個の人格としてその尊厳を重んじ、人間としての成長と幸せを願うという点において、異性間における相互の在り方は、基本的に同性間におけるものと変わることはない。（略）

ここで育成を目指す資質・能力としては、例えば、男女相互に独立した一個の人格として互いを尊重し合い、共に協力して充実した社会づくりに参画することの大切さを理解し、人間関係を築くに当たってのルールやマナーを大切に、共に充実した学校生活をつくることのできるようになること等が考えられる。また、そうした過程を通して、家庭や地域社会における男女相互の理解と協力の在り方などについて幅広く考え、共に生きる人間として豊かに成長しようとする態度を育てることも考えられる。

具体的には、男女相互の理解と協力、人間の尊重と男女の平等、男女共同参画社会と自分の生き方などの題材を設定し、アンケートやインタビューを基にしたり、**新聞**やテレビ等の資料を参考にしたりして、話し合うなど活動の工夫を行うことが考えられる。（略）

ウ 国際理解と国際交流の推進

我が国と他国の文化や生活習慣などについて理解し、よりよい交流の在り方を考えるなど、共に尊重し合い、主体的に国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を探究しようとする事。

この内容は、国際社会に生きる日本人としての自覚に立ち、外国の生活や文化を理解し、諸外国の人々と隔てない心で接し、互いに尊重し、積極的かつ豊かに交流し、国際社会の平和と発展に貢献することのできるようになるものである。（略）

この内容において育成を目指す資質・能力としては、例えば、我が国や他国の歴史や伝統・文化について理解し、共に交流、尊重し合って、国際社会に生きる主体的な日本人としての在り方生き方を探究し、国際社会の平和と発展に貢献しようとする態度を養うことが考えられる。また、そうした過程を通して、国際社会において尊敬され、信頼される日本人として成長していくことが大切である。

例えば、**マスコミ**等の国際理解や国際交流をテーマにした**記事**や番組を取り上げディスカッションしたり、外国での生活経験をもつ地域の人や国際貢献を担う人々の体験談などを聞いて話し合ったり、留学生など外国の人々との意見交換や交流会などを実施したりして、国際理解や国際交流の在り方についての考えを深めていくことなどが考えられる。(略)

第2節 生徒会活動

3 生徒会活動の指導計画

(2) 内容相互及び各教科・科目及び総合的な探究の時間などの指導との関連を図る

各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動の学習活動は、それぞれ独自の教育的意義をもちながらも、相互に関連し合って、全体として学校の教育目標の達成を目指すものである。特別活動と各教科・科目、総合的な探究の時間等との関連については、本解説第2章第2節の4において述べているが、生徒会活動の指導計画の作成に当たっては、例えば、風紀委員会やボランティア委員会、**新聞委員会**など各種の委員会の活動方針や計画の作成等において、各教科・科目や総合的な探究の時間との関連を図り、活動のねらいを明確にしたり、活動する内容に広がりをもたせたりすることが大切である。(略)

以 上